

100年
女川町制

女川出身の写真作家・鈴木さん 古里への思い 熱く 作品展で町民とトーク

女川町出身の写真作家鈴木麻弓さん(49)＝東京都＝の作品展「The Tide's Gift: HOM E」の関連イベントが8日、町生涯学習センターであつた。



女川の好きな場所や撮影エピソードについて語る鈴木さん(右)と女川小中の子どもたち

た。「女川、時間の層をひらく」と銘打ち、鈴木さんや参加者らが、写真を通して見る過去の記憶や現在、未来に向けた思いを語り合った。

午後の部では、鈴木さんを交えたトークセッションがあり、3組のゲストが登場した。女川小中の児童生徒4人は、町内の好きな場所を撮影する活動を紹介。それぞれの作品を手

に、撮影した場所やお薦めの季節、撮影時に試行錯誤したエピソードを披露した。

撮ったものを女川の人たちと共有すると、東京とは違った見方やエピソードが出て面白い」と語った。

子どもたちは鈴木さんの展示を見た感想も話した。

「故郷」をテーマにした作品に人が写っている写真が多いという感想に対し、鈴木さんは「女川に帰ってきたくなるのは人に会いた

いから。故郷とは何かという答えの一つは女川の人だ」と思い、人が写った写真をたくさん選んだ」と述べた。

午前の部は、参加者らが持ち寄った写真を囲み、昔の女川の思い出や記憶について語り合った。

写真展は町制100周年記念事業として、25日まで町役場ロビーで開催中。タイトルは「潮の贈り物」を意味する。鈴木さんが「故郷とは何か?」をテーマに、

東日本大震災後、大判カメラで育った女川を撮影した16点のラやドローンなどで生まれが並ぶ。

絵画と音楽楽しんで

あす、石巻・蛇田公民館

市民有志がアートカフェ

東日本大震災の被災地で、気軽に芸術に親しんでもらおうと、市民有志が開く「イマールアートカフェ」(実行委員会主催)の本年度第1回の催しが23日、石巻市蛇田公民館で開かれる。午後1時半開演。入場無料。

出演は、いずれも石巻市出身のバイオリン奏者内海誠さん、シャンソン歌手増田昌子さん、ピアニスト上村文恵さんによるユニット「誠組」。会場には仙台市出身の画家山浦多久二さん

東松島・矢本二中火災

発火は電気系統
老朽化が原因か

放火の疑いなし・石巻署

東松島市赤井の矢本二中で19日に発生した火災で、原因は電気系統の老朽化に